

教科	音楽	科目	音楽	単位	1	年次	中学3年
使用教科書	平成28年度版 中学生の音楽2・3下(教育芸術社)						
副教材	平成28年度版 中学生の器楽(教育芸術社)						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の4つの分野を、年間を通して学習します。学習の到達度は、授業で配布するワークシート、取り組み態度、実技テストで評価します。様々なジャンルの音楽に触れ、豊かな感性を養うとともに、自分の得意な音楽の形を見つけてください。音楽が、生涯にかけて皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2. 学習の到達目標

- 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする	主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
評 価 方 法	観察、ワークシート 演奏の聴取 作品の提出 完成までのプロセス 定期テスト	観察、ワークシート 演奏の聴取 完成までのプロセス	観察、ワークシート 配布プリントへの記述 取り組み姿勢 (グループワーク、発言、発表など)

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	思いを込めて明るい声で歌おう	【歌唱】 校歌、花、花の町、早春賦	○	○	○	a. 曲想を感じ取り、イメージを持って合唱するために必要な歌唱の技能(発声、発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身につけ、創造的に表現している。b. 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。c. 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	観察 取り組み姿勢 ワークシート プリントへの記述 グループワーク、 発言、発表 完成までのプロセス 演奏の聴取 作品の提出 定期テスト
5	アンサンブルに親しもう	【器楽】 アルトリコーダー、打楽器の奏法の復習 合奏作品の演奏	○	○	○	a. 楽器の基礎的な奏法に関心を持ち、演奏するために必要な技能(呼吸法、運指法、アーティキュレーション)を身につけ、創造的に表現している。b. 旋律とハーモニーの特徴を捉え、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、表現を工夫することができる。c. 演奏する喜びを味わい、イメージを持って表現する学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	
6	近代から現代音楽を鑑賞しよう	【鑑賞】 ムソグルスキー「展覧会の絵」 【鑑賞】 ポピュラー音楽よりJazz作品、ミュージカル作品		○	○	b. 音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら楽曲に対する理解を深め、その楽曲の良さや美しさを創造的に味わっている。c. 各時代・作曲家とその音楽文化に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	
7	音楽・美術とのコラボレーション 授業 舞台作品を創作しよう	【創作】 音楽科・美術科での協働学習によるオリジナル舞台作品の制作	○	○	○	a. 創作に必要な技能である読譜力と作譜力を身につけ、創造的に表現している。b. 旋律、リズムの特徴や効果を感じながら作品をイメージし、創作していくことに表現意図を持っている。c. 創作することに関心を持ち、創作活動に主体的・協動的に取り組んでいる。	
8	我が国の伝統芸能に親しもう	【鑑賞】 武満徹「ノーヴェンバーステップス」 【器楽】 琴の演奏 色々な奏法に親しむ/重奏作品	○	○	○	a. 楽器の基礎的な奏法に関心を持ち、演奏するために必要な技能(呼吸法、運指法、アーティキュレーション)を身につけ、創造的に表現している。b. 我が国の「伝統芸能」の音楽的特徴を捉え、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、表現を工夫することができる。c. 演奏する喜びを味わい、イメージを持って表現する学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	

9	発声や身体をうまく使い豊かな声で合唱しよう	【歌唱】 Yesterday、帰れソレントへ、フィンランディア、その他合唱曲	○	○	○	a. 曲想を感じ取り、イメージを持って合唱するために必要な歌唱の技能(発声、発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身につけ、創造的に表現している。b. 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。c. 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に協動的に取り組んでいる。	観察 取り組み姿勢 ワークシート プリントへの記述 グループワーク、 発言、発表 完成までのプロセス 演奏の聴取 作品の提出 定期テスト
10	アンサンブルに親しもうⅡ	【器楽】 合奏作品の演奏	○	○	○	a. 楽器の基礎的な奏法に関心を持ち、演奏するために必要な技能(呼吸法、運指法、アーティキュレーション)を身につけ、創造的に表現している。b. 旋律とハーモニーの特徴を捉え、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、表現を工夫することができる。c. 演奏する喜びを味わい、イメージを持って表現する学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	
11	鑑賞のステップアップ	【鑑賞】 スメタナ「ブルダバ」			○	b. 音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら楽曲に対する理解を深め、その楽曲の良さや美しさを創造的に味わっている。c. 各時代・作曲家とその音楽文化に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	
12	我が国の伝統芸能を調べよう	【鑑賞・創作】 雅楽や能作品について調べたスライドの制作 伝統芸能の特徴である歌い方や仕草、踊りなど表現活動を交えたプレゼンテーションの発表	○	○	○	a. 発表に必要な音楽的知識を身に付けるとともに、我が国の民謡文化に親しみ理解し、創造的に発表している。b. 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、創造的に表現している。c. 友人の発表を鑑賞し、批評することによって音楽の解釈や価値を考え、音楽への理解を深める学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	
1	ハーモニーを作りながら豊かな声で合唱しよう	【歌唱】 旅立ちの日に、大地讃頌、その他合唱曲(三部合唱)	○	○	○	a. 曲想を感じ取り、イメージを持って合唱するために必要な歌唱の技能(発声、発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身につけ、創造的に表現している。b. 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。c. 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に協動的に取り組んでいる。	観察 取り組み姿勢 ワークシート プリントへの記述 グループワーク 発言、発表 完成までのプロセス 演奏の聴取 作品の提出
2	音楽とは何か考えよう	【鑑賞】 音楽の著作権について 国境を越えて影響しあう音楽 ポピュラー音楽の特徴 ロック、ジャズ、ボサノヴァ			○	b. 音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら楽曲に対する理解を深め、その楽曲の良さや美しさを創造的に味わっている。c. 世界の各国とその音楽文化に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	
3	創作の集大成	【器楽・創作】Let's create! 卒業に向けて、クラスの歌の創作	○	○	○	a. 創作に必要な技能である読譜力と作譜力を身につけ、創造的に表現している。b. 旋律、リズムの特徴や効果を感じながら作品をイメージし、創作していくことに表現意図を持っている。c. 創作することに関心を持ち、創作活動に主体的・協動的に取り組んでいる。	

※表中の観点について

a: 知識・技能 b: 思考・判断・表現 c: 主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。